## ●2026年ジュニアオリンピックカップ開催地公募 Q&Aリスト

No.	Question	Answer
1	大会開催に要する経費のところで、何かJOCから補助金等々あったりするので	JOCからの金銭的な補助はございません。
	しょうか。	
2	プロテストボートの艇数は?	3艇(ミニマム)を揃えて頂く必要があります。
3	トラッキングシステムの準備は必須ですか?	本大会開催の必須要件ではございません。
	4 各艇種の計測内容(どのレベルの計測が求められるか)について教えて下さい。	420計測內容:
		・セール(シリアル番号確認)
		・マストとブームのブラックバンド・ストッパー確認(マストは重量も確認)
		・スピンポール長さ確認
		・曳航ロープ確認(長さ・太さ・素材)
		・艇体重量確認(コレクターウェイト確認)
4		29er計測内容:
		・セール(シリアル番号確認)
		・フォアステイの長さ確認
		・ホイッスル確認
		・艇体重量確認(コレクターウェイト確認)
		iQFOiLユース計測内容:
		IQFOIL ユースクラスの規定に準じた道具であるかの確認
		シリアルナンバー及びQRコードの確認
		ヘルメット、ライフジャケット、ホイッスルの確認
		ILCA4/6計測内容:
		下記内容の計測を実施してください。
		https://www.laserjapan.org/wp-content/uploads/2023/11/2310measure-ver3.pdf
		OP計測内容:
		実施不要

5	オリンピック強化委員会スタッフの大会への協力体制を教えて下さい。

## 【ユース部門】

- ・強化委員長、ヘッドコーチ、各クラス担当コーチ5名、スタッフ2名が大会期間中参加予定です。
- ・強化委員長と事務局スタッフ2名は陸上本部スタッフとしてアサイン頂くことが可能です。ヘッドコーチ、iQFOiLクラスを除く各クラス担当コーチ(3名)については主に各クラスの状況視察を目的として競技中は海上待機を想定しておりますが、適宜海況によっては各クラスのレスキュー業務を兼ねることが可能です。iQFOiLクラスについては現状運営人材が不足していることを鑑み、担当コーチ及びサブ担当コーチの2名をレース委員長他の運営要員としてアサイン頂くことが可能です。

## 【ジュニア部門】

クラス担当コーチ2名が参加し、視察およびレスキュー業務に携わります。

また、JOCへの提出書類の申請事務等についても、オリンピック強化委員会として実施致します。 なお、上記オリンピック強化委員会メンバーに関する出張費用(交通費・宿泊費等)については別途 JSAFオリンピック強化委員会予算にて負担致します。